

子育てひろば便り 臨時号

◇2021年度 「子育てひろばサポーター養成講座&研修会」開催しました！

生活クラブ生協大阪の「子育てひろば」は誰でも立ち寄り、ほっこりできる居場所です。
子育てひろばと一緒に活動する仲間を見つけるため「子育てひろばサポーター養成講座&研修会」を開催しました。
今年度は11月5日の養成講座、子育てひろば見学（11月、12月の希望日）、12月14日の研修会の3日間に渡り、実施致しました。

会場の茨木クリエイティブでの実施と同時にZoomでのオンライン配信もおこないました。慣れないことばかりで、参加の皆様には不手際や至らぬ点が多々ありましたが、ご理解ご協力をいただき無事開催できました。

◇11月5日の養成講座

会場参加：10名（一般組合員2名、サポーター1名、部会メンバー5名、常任理事、理事長）

Zoom参加：3名（サポーター3名）

生活クラブ生協の組織の説明から始まり、各子育てひろばの紹介、みのむしの工作やサポーターの心得クイズ、ワークなどを行いました。ワークは、子育てひろばでよく直面する2つの場面（①帰りたくない泣く子どもの場面 ②成長が遅い、言葉が遅いなどのお母さん同士の悩みの会話の場面）をパープサートで実演し、みんなで考えました。



◇子育てひろば見学

養成講座の後、一般の申し込み組合員（3名）は希望の子育てひろばを見学しました。

◇12月14日の研修会

会場参加：12名（一般組合員2名、サポーター4名、部会メンバー5名、常任理事）

Zoom参加：4名（サポーター4名）

「マルトリートメントと子育てひろばの役割について」の学習会とお楽しみの時間の手遊びやお絵かきを行いました。その後、現サポーターから活動の様子などを話してもらい、感想などを参加者全員に発言してもらいました。マルトリートメントとは「不適切な養育」と訳されています。広い意味での虐待のことですが、大人から子どもに対する避けたい関わりを指し、子どもが傷つく行為は全てマルトリートメントであり、目を向けるべきなのはその時の子どもの状態だと言われています。マルトリートメントにあたる33項目の中には、子育てに関わった方ならだれでもが経験したことがあるのでは？というものもありました。マルトリートメントを受けた子どもは脳にダメージを受けるということは衝撃的でしたが、回復できることも分かっているそうです。回復には医学的なアプローチだけでなく社会全体で子育てすることも大事だと言われています。この事は、生活クラブ生協大阪の子育て支援の理念の「とも育ち」にも通じ、子育てひろばにどう繋げていったら良いか皆で考えていきました。お楽しみの時間は、立ち上がり、軽くストレッチをしてからキャベツの手遊びを歌いながら行いました。お絵かきは、流れ星、月、木、家、鳥という言葉聞いて、自由に絵を描くことで、完成は皆違う事、正解は無いことを体感しました。とても和やかな時間となりました。



「マルトリートメントと子育てひろばの役割について」



「キャベツの歌」を皆で

今年度は、一般の組合員の方は3名でしたが、現役のサポーターもたくさん参加しました。

養成講座では、工作の実演やサポーターの心得クイズやワークの場面と一緒に考え、研修会ではマルトリートメントのことを一緒に学び、皆の意見を聞くことができました。

また、お楽しみの時間で手遊びやお絵描きをして楽しく交流できました。

会場とZoomの両方の参加者全員に協力して頂き、大変良い参加型の養成講座&研修会となりました。

研修会終了後、一般組合員の全員（3名）がサポーター登録を希望していただき、心強い仲間ができた事を大変嬉しく思います。

(⇒ウラに続きます！)

(続き)

【参加者の皆様の感想の一部を紹介します】

- どのような心持ちでサポーターをしているかがよく分かって参加して良かったです。
- 子育てひろばにくる親子の心の安定を大事にされているところに尊敬の念を持ちました。
- (Zoom 参加で) 離れていてもサポーターの方々と交流できてよかったです。
- マルトリートメントという言葉は初めて聞きましたが、とても勉強になりました。ひろばに来る親子にどう寄り添えるか考えていきたいです。
- 虐待とわかっていても、かぁーと怒ってしまう気持ちもわかる。お母さんの気持ちに寄り添う言葉をどうかけたら良いか、考えていきたい。
- 虐待は特別な特定の人がする事と思っていたが、33項目はどれでもやってしまう事。ダメージを受けた脳を回復させるにはサポーターとしてどうしたら良いのだろうか。
- 毎年養成講座をやっているが、今年は初めて参加の方だけでなくたくさんの現役のサポーターの参加もあり、学ぶ機会があって大変良かった。サポーター同士、学び合ったり確かめ合ったりする事は大事と思った。

【研修会で学んだマルトリートメント】

「どれがマルトリートメントに当たるでしょうか？」

1. 子どもをきょうだいと比較して批判したり、親せきなどの前で笑いものにする
2. 子どもの苦手なことが気になり「あなたは何やってもあかんあ」と言う
3. 頭に血が上って大声で怒鳴る
4. 「男の子は泣いたらあかん、男の子は強くなったらあかん、我慢しい」と言う
5. 親の気分によって、同じ行動でも、子どもを叱る時と叱らない時がある
6. どんな時でも子どもの気持ちを聞かずに親が決めてしまう
7. 子どもが失敗したことを責めたり、失敗した理由を問い詰めたりする
8. 子どもの前で夫婦喧嘩をする
9. 子どもに夫(妻)への文句を話す
10. 夫婦間での暴力がある
11. 夫婦間での支配関係があり「誰のおかげで暮らせてると思てんねん」などと言う
12. 人前で妻(夫)を「ダメな奴で…」と言う
13. 大切にしているものを夫(妻)が壊す
14. 夫(妻)が妻(夫)の交友関係を制限する
15. 子どもに夫(妻)への文句を言わせる
16. 子どもが言葉で言ってもわからない時に手加減してたたく
17. 子どもは言葉だけでは理解できないため、体罰は必要
18. 子どもが約束を守れなかった時など、罰として食事を抜く
19. 食べ残しは禁止しているため、子どもが「おなかいっぱい」だと言っても無理やり食べさせる
20. 子どもが体調不良を訴えても無理やり学校に行かせる
21. 仕事や家事が忙しく、子どもと触れ合う機会がほとんどない
22. 子どもが泣いても様々な理由で無視する
23. 子どもに長い時間スマホを渡して、おとなしくしてもらおうことが多い
24. 子どもを家に残して、数時間外出する
25. 忙しく食事を作れないことが多く、子ども自身でカップ麺やレトルトで済ませることが多い
26. 子どもが体調不良を訴えても病院に連れて行かない
27. 子どもが嫌がっているにもかかわらず、お風呂の後などで裸で過ごす
28. 嫌がる子どもと一緒に風呂に入る
29. 夫婦の性的な関係を子どもに話す
30. 性的な映像や雑誌が子どもの目に触れる所に置いてある
31. 子どもの裸を撮る
32. 親の性器を子どもに触らせる
33. 子どもを性的な対象として扱う

「全てがマルトリートメントにあたります！」

生活クラブ生協大阪の子育てひろば

どなたでも、申し込み無し無料で参加できます。是非、遊びにいらしてください！

コロナ感染拡大のため急に予定が変更になる場合があります。

生活クラブ生協大阪のホームページ、Instagram「子育てひろば ひらひら」「ぼらん*ぼらん」、facebook「生活クラブ生協大阪子育てひろば」でもお知らせいたします。

- 枚方「ひらひら」…毎月第1,3木曜日 10時～12時
岡本町会館 京阪枚方市駅徒歩3分
毎月第4木曜日 10時～12時
居場所「よりみち」 京阪電車枚方市駅が香里園駅から
京阪バス 香里ヶ丘十丁目すぐ
- 茨木「クレードル」…毎月第3火曜日 10時～12時30分
玉櫛コミセン2階会議室4 阪急・モルル南茨木駅徒歩12分
- 高槻「ぼらん*ぼらん」…毎月第4木曜日 10時30分から12時30分
レンタルスペース「すみれ家」
JR摂津富田駅徒歩1分、阪急富田駅徒歩5分
- *大阪市内にて新規の子育てひろば計画中